

1. 件 名：中部電力（株）による核燃料輸送物設計変更承認申請（HDP-69BCH型、TK-69CHS型、TK-52CHS型）に係るヒアリング（2）
2. 日 時：令和6年2月7日（水）10時10分～11時50分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※はTV会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出安全審査官、山後安全審査官、
松本安全審査専門職
中部電力（株）
原子力本部 原子力部 設備設計グループ長 他4名※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。
6. その他：
【中部電力（株）からの配付資料】
資料 核燃料輸送物設計変更承認申請書公開版等のマスキング不足に係る原因と再発防止対策について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁のサンゴですけれども、中部電力側の準備よろしいですかね。
0:00:08	はい。大丈夫です。よろしくお願ひします。規制庁様です。それではこれから中部電力株式会社との面談を実施いたします。
0:00:17	議事内容の公開のために録音して自動の文字起こしを行ったものをホームページに掲載しますので、不開示情報については発言をしないように注意をお願いします。
0:00:28	不開示情報について発言をしてしまった場合にはその場でその旨を指摘してください。
0:00:33	発言の際にはですね所属と氏名を最初にお願ひいたします。
0:00:38	発言していない状況ではマイクはミュートにしてください。
0:00:43	はい。それで長さんのそれではですね始めたいと思いますが、まず、中部電力が資料ありますけれども、
0:00:54	この内容について手短 2、ちょっと説明をしていただけますか。
0:01:03	はい。中部電力露木です。それでは本日の資料について説明させていただきます。まずはじめにとしまして、
0:01:14	12月5日に申請した、各寝る蘇武設計変更承認申請書の
0:01:20	公開版及び案とマスキング箇所を明示した非公開版において、マスキング箇所が不足している状態で電子データを提出していること。
0:01:30	を確認いたしましたので、本会社に係る原因と再発防止対策について報告させていただきます。
0:01:38	二つ目の事象の概要としましては、今回ですね、申請書を作成するにあたり当社は、リテイションの作成業務をキャスクメーカー2社に委託しておりました。
0:01:51	これ委託補業務の報告書においてマスキング箇所を明示するよう停止。
0:01:56	明示して提出するよう指示しておりました。
0:01:59	発言箇所は営業秘密でありまして、当社で決定するものではない。
0:02:04	ことから、今後報告書を
0:02:07	が提出した時点で、マスキング箇所が指定されていなかった。
0:02:12	そういったことから、その後の弊社での確認プロセスでは気づかず、マスキングが不足したまま、
0:02:18	公開版及び、マスキング箇所を明示した非公開版を提出しておりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:24	これらについてマスク箇所が不足していることについては、
0:02:28	12月26日オク21日に報告を受けております。
0:02:34	本事象を受けて、
0:02:36	3ポツ目になります。本事象を受けて、当社は、両社に是正を要求して、
0:02:43	おります。両者が、
0:02:45	この通り原因分析の上再発防止対策を実施しております。
0:02:50	なお、
0:02:51	両者ともまず軽作業以外の申請書の作成作業においては、チェックシートの増を向けるなど、記載内容を十分に確認していることを確認しております。
0:03:03	まずA社の原因になりますけれども、
0:03:06	マスク箇所チェックは、チェックシートに基づいて、し、作成者審査者が確認しておりましたが、
0:03:14	それぞれがマスクすべき内容の考え方をまとめたリストを生かした上で、記憶に基づき、実施していたのみあり、
0:03:23	見落としを防ぐ方法をとっていなかったことが原因として挙げられております。
0:03:29	この再発防止対策として、
0:03:31	マスク箇所チェックにおいては、
0:03:34	作成者審査者はマスクすべき内容の考え方のリストを参照しながら確認することに加え、あらかじめ作成したマスク対象のキーワードアシダリストにより、
0:03:44	検索機能を用いて、具体的にマスク箇所を確認する方法を併用することにしました。
0:03:49	これらについて、チェックシートを改正することで、社内ルールに、
0:03:54	反映し、こういう低減対策としていること、としても確認しております。
0:04:01	二つ目のですねB社に関しましては、マスク箇所をチェックするためのチェックシートがなく、作成者以外の者もチェックすることがされる上明確ではなかったことから、
0:04:13	結果として作成者以外の確認が行われていなかったということが原因としています。
0:04:20	本日の再発防止対策として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:04:23	マスキング箇所をチェックするためのチェックシートを作成し、作成者以外のものもチェックすることを明確にしております。
0:04:32	また、A社と同様に、チェック作業において、
0:04:35	マスキングすべき内容の考え方のリストを参照しながら確認することも、これに加え、
0:04:42	あらかじめ作成したマスキング対象をキーワードパスタリストにより、
0:04:47	検査、
0:04:48	機能を用いて機械的に試験箇所を確認する方法も併用することとしております。
0:04:54	これらについても社内流下し、恒常的な対策としております。
0:05:00	4番目として当社の対応としましては、両者が是正処置のプロセスに基づき、是正処置を実施したことを確認しております。
0:05:09	また、二つ目としまして、両者にこの再発防止対策を踏まえて、再度申請書の資金確保を確認するよう要求して、
0:05:18	おりその報告を受けております。
0:05:22	3番目としまして
0:05:25	当社としては、2、
0:05:27	1月5日に報告したセイノな内容を踏まえ、
0:05:32	再度申請書の今回版等の確認を実施して、
0:05:36	おります。
0:05:38	はい。説明は以上となります。
0:05:44	規制庁の丹後ですけれども今の説明について規制庁側から何かございますか。
0:05:53	あ、すいません。どうぞ。はい。すいません、規制庁のニッサカというものです。
0:05:58	はい。今ご説明いただきました件ですけど、
0:06:04	ちょっとそもそも会員ですけど、今回いただいた資料、A4の2ページもの、これは一切要は開示情報、機械情報がないという理解でよろしいでしょうか。
0:06:14	マスキングなしでフルにオープンしても良い資料でよろしいでしょうか。
0:06:21	はい。渋谷清潔、はい。杉沢ございません。
0:06:25	承知しました。はい。
0:06:27	その上でなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:06:31	次事象の概要というところで、営業秘密であるマスキング箇所は、当社で決定するものではなくという、ちょっと言葉があるんですけど、
0:06:41	ちょっと裏を返しますと、今回申請いただいた3件の資料というものは、
0:06:46	要はここに出てくるA社さん、B社さんが指定した、これは営業秘密だから出さないでくれと言われたもの以外では、マスキングするような情報は一切ないと中部電力としては、
0:06:58	非開示とするものは一切ないという理解で本当に大丈夫でしょうか。
0:07:06	はい。事務局締結問題ございません。
0:07:11	となりますと今回の時、規制庁西田です。今回の事案というのは、
0:07:16	何かそれからここに出てくるA社さん、B社さん。
0:07:20	これらの人たちの、ちょっとマスキングがよくなかったからちょっと起きたという。
0:07:26	ふうにとちょっと読み取れるんですけど。
0:07:29	とはいえ、本件、
0:07:31	確認郵送物の申請ということで、
0:07:35	我々としては一義的にはやはりそう申請いただいた電力会社さんの方のちょっと管理といいましょうか、調達にあたってのちょっと管理がどのようなものかなというのにはちょっとかなり危惧しておりまして、
0:07:48	ちょっと今回いただいた内容っていうのは、
0:07:52	普通の企業、特にやっぱりその特許ですとか、企業機密扱うようなところであれば、
0:07:59	本来的にその備えてるべきものだと、私個人的には思うんですけど。
0:08:04	それがちょっと1月5日にヒアリングして、
0:08:08	ようやくこの2月、約ひと月もちょっと用意するわけですけど、
0:08:12	ちょっとどうしてこのようなお時間かかったのかっていう、ちょっと経緯とか、
0:08:17	どういう過程でこのような資料、ようやくできたのかというところをちょっと教えていただけないでしょうか。
0:08:27	はい、注力、追加でございます。
0:08:30	これまでですね1ヶ月ほど経ってしまいました申し訳ございません。実施した内容としましては、土佐。
0:08:38	4ポツに書いてございますように、
0:08:41	これまでこの資料で説明してきたところですけども、まずメーカーの方の原因分析と是正の検討、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:08:51	2 フェーズ、
0:08:52	より、そそれを踏まえた、再確認。
0:08:56	に時間を押しておりました。
0:09:00	また社内での再確認。
0:09:03	も含め、このようなページまで 1 回、
0:09:07	失礼しました。
0:09:24	あ、規制庁にさ。
0:09:27	今回のこの処置を踏まえたんですけど、
0:09:30	いわゆる 12 月に出していただいたものというのは一般ホームページの公開を一時停止しておるんですけど、本当の意味での差し替えみたいなものっていうのは、いつぐらいに提出されるものでしょうか。
0:09:43	おそらく今日時点、また、多分担当者の方には、そのような、僕等も含めて、連絡を行っていただけないと承知しております。
0:09:53	はい。衛藤。
0:09:55	現日はできてございます。今回の説明後、速やかに出せるように努めているところでございます。
0:10:06	すいません。規制庁の井坂です。一応そういう状況ですけど大丈夫でしょうか。
0:10:11	終わったら、
0:10:15	規制庁の井坂です。1 月 5 日のヒアリングでは、ちょっと手厳しい方としては、ちょっと取り下げも含めていかがみたいなちょっと議論も出たんですけど、
0:10:29	今回取り下げはなしで、予定通り申請をされるという
0:10:34	理解でよろしいでしょうか。
0:10:38	はい、中部電力提携そのように考えてございます。
0:10:42	規制庁ニッサカ承知しました。
0:10:47	本件、今日のヒアリングの内容というのは当然公開しますし、今回いただいた資料についても、これ、ホームページ、しっかりと公表されますので、
0:10:57	おそらく輸送に関する電力関係者の方ですとか、メーカーの方がやっぱり注視されると思いますので、ちょっとそこは、
0:11:08	やはり今回の件っていうのが、やっぱり他の人たちに影響をちょっとおよぼし得ることを十分にご認識いただいた上で、これだけちょっと時間を割くわけいけないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:11:19	ちょっと事実関係のヒアリングですとか、ちょっと本来議題に移りたいと思いますけど、よろしいでしょうか。
0:11:25	はいどうぞ。
0:11:27	規制庁のサンゴですけれども、いただいた説明の内容で、何かちょっと言い方悪いかもしれませんが、これ公開されても別に恥ずかしいとかそういうのはないってことでよろしいですかね。
0:11:45	はい。
0:11:47	はい。旧APS、はい。
0:11:50	そのように考えてます。
0:11:52	はい。若狭アノ氏規制庁サンゴですわかりました。で、この資料の中での中部電力の是正というところなんですけれども、
0:12:00	資料の説明を聞く限りは、メーカーが把握してなかったメーカーがちゃんとしてなかったってところが何か、
0:12:09	強調されてるように聞こえるんですけれども。
0:12:13	そもそも、
0:12:15	この申請にあたって、規制庁が今情報公開を行ってるというのはもう随分前から行われていることであって、
0:12:23	委託した設計の報告とかそういうのを申請書を使って公開されるっていうのは、
0:12:28	明らかだと考えていいと思うんですね。その状況で、メーカーに対しての発注の管理として、
0:12:40	何て言うんですかね、営業秘密とかマスキングをしなければいけない、それを申請書として使われるっていうことを含めてっていうような注意とか、
0:12:50	そもそもの発注の中の要求事項にきちんと盛り込んでいたんでしょうか。
0:12:59	はい。資料として、
0:13:02	適切なプロセスを経て、提出することは要求してございました。具体的に、
0:13:09	なってるんですかねそこは、
0:13:13	マスキングに特化した状況ではございませんが、品質保証の観点で、
0:13:20	提出するものは、確認したものの、しっかりレビューしたものを提出するように、要求はしていました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:13:28	それは中身がいいか悪いかの確認をしなきゃいけないっていう要求事項であって、マスキング版を作成しろっていう要求事項になっていなくて、マスキングをそもそも作ってなかったんじゃないのかっていうところで、
0:13:41	メーカーっていうよりも、中部電力側としてきちんと発注の管理をしていただかないといけないんじゃないのかな。それは翻って他のものについても、
0:13:55	きちんとした管理がなされているのかっていうところに繋がるんじゃないかなと思うんですけども。
0:14:01	今後の何ていうんすかねこの設計の発注についてマスキング版の公開資料をきちんと作るんだって明文化しておかないと同じ問題が発生するんじゃないかと思うんですけど。
0:14:11	そのあたりはどういうふうに対策していこうとしてるんですか。
0:14:17	適切ナーシ報告書を出すっていう言葉の中で、マスキングも含まれるっていうのはちょっと乱暴なんじゃないかなと思うんですけど。
0:14:36	はい、オチアイオク清木です。資料にも書いてございますように阿久津基盤を提出するように伝えておりますので、調達としては、
0:14:46	しっかり
0:14:48	もう公開されることを見込んで、報告書を受領して、
0:14:53	言います。
0:15:02	衛藤規制庁さんの方でそうすると、要求はきちんとしていたけれどもその要求に沿って業務が行われていたかどうかの管理が中部電力側がきちんと行えていなかったということ。
0:15:14	理解でよろしいですかね。
0:15:17	今後はそういった管理をきちんとしていくので問題は起こりませんというふうになりますと、
0:15:26	はい、中部電カツユキですはい、そのように考えてございまして、
0:15:31	いいですか一つ。
0:15:33	すいません。規制庁のホデと申します。
0:15:36	ちょっと事実の確認だけなんですけれども、これ、今回のマスキング作業有無で何かこういうふうな若干漏れがあったと。
0:15:48	いうふうな話は、今回こういうの話なのか、それとも、さかのぼって、5年前の時も同じところが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:15:59	漏れて、今回また行ってってというような、どちらなんでしょうか。だから今回固有の問題であれば、今回こういうの問題ということで、
0:16:09	対応の仕方はあるだろうし、やっぱりそのズーッと同じような形で、やっぱりどっかも改善、いろんな、いろんな書類上の
0:16:19	どうですかね不適合みたいなどころあると思いますけども、
0:16:22	その辺が眠ってて、ずっと
0:16:26	ちょっと重たい要は是正対応しなきゃいけないのか、どちらの位置付けと考えるおけばよろしいのでしょうか。
0:16:49	はい。中部電力露木です。今回の事象を踏まえて、チェックシート等です
0:16:57	ね
0:16:58	を、
0:16:58	変更するなど、社内ルールを盛り込むなど、そういった是正、再発防止対策を行っておりますので、過去の分に関しましても、
0:17:12	確認されていたかどうか、例えば、
0:17:15	例えば、
0:17:19	私、5番、
0:17:20	織田照屋アノ、これ、今回と同じようにやってきたかもしれないですけども、今後この
0:17:29	再発防止を踏まえて、適切に確認したものを出していくということにする。
0:17:36	いたします。だから、すいません、規制庁の方ですけども、
0:17:43	だから前回も漏れがあったんで、今回多分それを参考にやって、
0:17:48	何かはちょっと突っ込んでみたら、粗々ってというような感じだっというふうに思っていればよろしいですかとなると、今回こう、逆に、
0:17:58	まあまあ好きマスクするところが増えて、前回のやつも当然ホームページ等で公開できるんですけども、その辺にいるアルミの倉庫が出てくるようなことになるかとも思うんですけども、
0:18:11	その辺に対してちゃんとその中部電力の方で責任持って、過去こうでしたけども、どうでしたっていうふうな説明者と、何か来ればできるというふうに考えてよろしいと。
0:18:23	ということで結構ですということでもいいんでしょうか。
0:18:27	すいません規制庁サンゴですけど、ちょっと補足させていただきますと、1月5日のときの報告では、
0:18:35	バッピングも令和、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:18:38	前回所初回申請の時にはパッキングしていたものの、資料を再作成するにあたって、マーキングが抜けていたという話があって、
0:18:48	その中で、その報告とは別の不備もあってということも含めて、今日報告いただいているんですけども、
0:18:56	ぜ。
0:18:57	一体、
0:18:59	なお、もう、
0:19:01	1月5日に報告されたものと、今回、それを含めて、報告されてるもの等も含めて、
0:19:08	前回の申請書の公開版というものには、影響はないっていいことだと思いますよね。もし影響だったとしてもそれは中部電力で説明してくださいねって意味ですけども、大丈夫でしょうか。
0:19:26	入ってくれる。はい、承知しました。
0:19:34	規制庁のサンゴですけど、どっかに何かございますか。規制庁どうぞ。よろしいですか。はい。
0:19:40	規制庁の伴ですけども公開版で何か余計な手間に、
0:19:46	覚えるのは、何か結構大変なんですけれども、
0:19:51	一旦公開してしまうと、それを、もし公開を停止したとしてもですね、データがどのようになってるかっていうのもわからないので、重々気をつけて、作成いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
0:20:08	はい、木部宇津木です。はい、承知しました。
0:20:12	はい。規制庁様でそれからですねもしそういった不備がありましたら即連絡をいただくように、よろしくお願いいたします。
0:20:22	これからですねちょっと申請書の中身について、
0:20:28	行いますけれどもよろしいでしょうか。
0:20:33	はい。はい、承知しました。よろしくお願いいたします。それで本日、現設計と いうか、
0:20:44	設計し、メーカーが同席されていないということなので、
0:20:49	即座に回答がっていうのが難しい箇所があるかもしれませんが、そういった場合にはですね後日回答するということで、全く問題ありませんし、
0:20:59	その回答の番ですすでに申請書の補正をこういうふうにするってということで、速やかに話が終わればいとも考えておりますので、今日コメント等とか確認内容とかは
0:21:14	そういった形で、速やかに処理していただいて、審査、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:21:19	プロセスを改善していこうということでよろしく願いいたします。
0:21:26	イノウエグチ ユキです。承知しました。よろしく願いいたします。
0:21:30	いいですか。
0:21:32	株式三つある。
0:21:37	規制庁のことです。
0:21:43	ほとんどはアノちゆ、まず最初に確認ですけど、それ、それぞれ
0:21:51	1形式と2形式に分かれて2社で委託を出されて実施したと、された安全解析が実施されたと。
0:22:04	いうふうに、まだ認識してるそんな認識でよろしいですね。
0:22:10	スマダイノクチです。はいその通りでございます。わかりました。多くの場合は、それぞれの設計の考え方っていうのは、それぞれのメーカーが、
0:22:21	当技術基準適用するためのシナリオを考えて、VISA、
0:22:27	どういんですかね詳細なところはそういうとかそれぞれメーカーが2を、
0:22:33	がある程度考えてきてるんだけど、その右となる基本的な申請書別紙SARの進め方そのものっていうのは、
0:22:44	中電力がしっかり見た上で、その上で決めて、それにはメーカーが当てはめてきたというナカ感でこの申請書を作られてるということよろしいですかね。
0:22:59	はい。中部電力露木ですその通りでございます。わかりました。であれば、基本的にコメントコメントというか、事実を確認したいところっていうのは、
0:23:13	3方3型式共通と、基本的にですね、原則っていうんですかね。
0:23:18	ということで、それぞれ全型式に対してというふうにご認識いただければと思います。
0:23:30	よろしいですか。
0:23:34	よろしいですね。OKですはい。まだございません。今回の申請にかかって、今回の申請については、
0:23:45	いわゆる、すでに自主的に検討されてるところの経年変化というところを、コンパコウ%というか、へ、令和3年ですかね、令和3年の
0:23:59	規則改定に基づいて、ろ紙をFにまとめたとか、かつての時には、品質保証、
0:24:09	品質管理の方法についてというところが申請書別紙の柱に書かれたのを、それを独立させたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:24:18	大きなところはそういうところで、あとは、先行の例えば四国電力の申請とか、原燃輸送の輸送キャスクですけども、その辺の申請の内容も踏まえて、
0:24:31	必要なところを、このA3形式に当てはめて、いわゆる適正化を図ったと。
0:24:40	説明をより明確化したと、というようなところが、変更の主な内容ということでもよろしいですね。
0:24:49	全然力清木です。はい。その通りでございます。わかりました。
0:24:53	で、まず経年変化のところなんですけれども、確認ですけども、
0:24:59	技術基準適合性を評価するという上で考慮を必要としているもの。
0:25:05	というのは、いわゆる中性遮へい材と金属ガスケットと、繰り返し荷重による疲労というふうにごちらで理解しましたけどその理解で正しいですか。
0:25:23	木口です。経年変化に関してつまり
0:25:28	よく聞こえなかったんですけどもすべての部材に関して、いや、そういうことじゃなくて、技術基準に対して、その影響を考慮し、する必要があると判断されたものは、
0:25:40	中性子遮へい材と金属ガスケット、要はその構造材の疲労評価だと。
0:25:48	疲労に疲労の影響というふうに我々理解しましたけどそれ以外で正しいですか。
0:25:55	はい、はいその通りでございます。わかりました。
0:25:58	であれば、まず、
0:26:05	その理解のもとで例えば繰り返し荷重の影響についてですね
0:26:12	ろ紙をF-1以降ですかね考慮の必要性というところ、具体的には、なお疲労による偏劣化については以下の文章のところですね。
0:26:26	結局実際評価してるところっていう炉所の5-1-3とかA-4の4個っていうところは、原則見直しは不要と考えてます。
0:26:38	要は、繰り返しP効力と、一つは、まずこれは
0:26:44	社内でも、庁内ですねこちらの庁内でも、はっきりプロセスがわかるものでよく、今回もそうなんですけど、最近よく言われてるところで、
0:26:56	繰り返し、まず、繰り返し回数の説明これは炉小の4-4とかかかもしれませんけども、
0:27:04	繰り返しピーク応力と、繰り返し回数との関係ですね、例えば設計し疲れ線図があつてそれからどういうふうにしたかというようなこと等は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:27:14	頭出していただけるように、ちょっと対応いただきたいと考えてます。
0:27:20	で、あわせて今の書きぶりであれば、どのような使用、どのような使用条件、例えば何か輸送する段階で吊り上げる卸すると。
0:27:29	30 体については、何機の輸送容器で兼用さあ兼用とすることから想定か、移送回数を、何回として、その、
0:27:40	何倍として想定したところから、要は着よう技術基準、技術上の基準を評価するために設定した回数と、
0:27:51	いうようなところまでをですね、明確にし、明確にちょっと書いていただきたいで環境を踏まえて
0:28:00	土岐山ソウノ生じることを確認するとかですねそういうふうな書きっぷりになるのではないかなと考えてます。
0:28:07	上間の 3 では、想定される使用条件使用環境について、どのような先ほど言いましたけども、想定される回数はこうだから、
0:28:17	評価にあたっては、それを保守的に何回も見てやりましたとかですね、そういうふうな感じだと思うんですけどね。
0:28:25	いうふうなところですよ。
0:28:28	ちょっと相場的な話しますと、ロシアMっていうのは収納物も含めて、輸送物の構成部品に対して、
0:28:36	使用環境仕様条件、そういう条件のもとで、経年変化の影響があるかないか、それを技術基準適合性評価を、炉所のからまでの評価の、
0:28:50	条件として考慮する必要があるかないか。
0:28:55	考慮する必要があるとしたものはどのように考慮するかということが、を述べる場所というふうに我々考えております。
0:29:04	だから、了承。
0:29:08	よくあるんですけど 6、第 6 条とか、各部の水槽物に関わる気つき示されている第 11 条に規定される技術上の基準適合性を判断するエビデンスは、ここでは示し、
0:29:21	ところではないというふうに考えてますので、要は、どんな経年変化が考えられる、それはどう、どの、どの程度のものだから、考慮する必要があるとか、
0:29:33	考慮する場合には、各云々と想定されることから、これをどのように、保守側に設定して評価をするとか、
0:29:41	いうふうな感じで使い分けを明確にしていきたい。もう 1 回これは、ある程度書かれているという認識はあるんですけども、明確化されてる

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

	かどうかってよく確認した上で修文が必要であれば修文を考えたいというふうに考えてます。
0:29:58	ご理解いただけましたでしょうか。
0:30:04	はい。鶴来清木です。
0:30:07	理解はいたしました。
0:30:09	ちょっと
0:30:10	基本的には
0:30:12	繰り返し回数も含めて、道路小Fの中の費用のところにも、今の時点で書いてございますし、藤堂翔英のところ、30分他のえと。
0:30:25	だからそういうことが書かれてるのはわかるんだけど、ちゃんとその、
0:30:31	ここ、明確にろ紙をFでは何を書く、炉所ではそれを受けて何をするっていうことになると思うんですね。
0:30:38	だからそこが明確化されてるかどうかというところで、条件となるものは、条件としたものを設定したものについてはろ紙をユフに漏れなく記載され、
0:30:48	されていてそれが明確にわかるように、記載いただきたいと思います。
0:30:54	ちょっとご確認いただければと思います。
0:30:57	はい。そうしますか。はい。次なんですけれども、
0:31:07	経年変化のところ、燃料種燃料集合体ですね燃料体ですよ。
0:31:12	で、これで最高温度については、
0:31:17	要はこれ何見るかっつたらでのクリップのひずみとか、照射硬化回復とか、その辺のレベルの話と、あと水素再配向と、
0:31:30	いうところがあるんですけど、
0:31:34	と、ここですね、
0:31:38	熱のところ、温度、
0:31:41	貯蔵中、使用予定期間中ですね、の最高温度というところ。
0:31:48	のところに、88とか新型88を入れた場合の最高温度、被覆管の最高温度というのをここに情報として入れていただきたい。
0:32:01	なぜならば、当然、ご存知の通り、ライナつきのやつとか高燃焼度の8燃料の、
0:32:10	ものっていうのと、要は、水素再配向が生じる恐れのある温度の基準、閾値というのが異なりますので、
0:32:22	それぞれに対して、どう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:32:24	当然その貯蔵中コウノんと、当然古い燃料であれば冷えてるんで当然それ引くことになるんですけども、その温度も、多分今、
0:32:34	その高燃焼度 8 かなんかの場合の結果が書かれてると思うんですけども、そうではなくて、その古い燃料ですね、これが入れたときの、その
0:32:46	等、そのアクセス条件時の、例えば長谷、その被覆管の温度ということを示したいと。
0:32:56	明示したいと考えてます。
0:32:59	よろしいですか。はい。極力清潔。はい。今のご質問はF1 票のところにも明記するということです。はい。はい、わかりました。F4 のところには、
0:33:10	両方とも数値は書いてあります。それは理解します。はい。それをこちらの方でも明確化するようにいたします。
0:33:19	はい。あとですねこれ、昨今の
0:33:26	昨今のいわゆる実用炉の方の特定兼用キャスク貯蔵の方で、ちょっと議論になってるようなところがあるんですけども、
0:33:34	周方向力の算定結果っていうのは、これは例えば炉内運転中に被覆管生じる酸化皮膜生成。
0:33:44	に起因する、減肉というのは考慮されてるということでよろしいですかね。
0:33:58	中部で宇津木です。すいません少し確認してが一つあろうであれば
0:34:05	何も考慮した上でっていうふうなことが書ければちゃんとそこ、その通りですっていうことで、いうことをこういうふうにいただいた上でその旨明記しておいた方が出たと考えますのでまたご検討いただきたいと思います。
0:34:22	はい、承知しました。はい。
0:34:23	はい。
0:34:24	規制庁さんですけども、基準に対してぎりぎりとかっていうレベルではないので被覆管の周方向力とか、その温度評価とかの影響を見るっていうのは問題ないと思うんですけども、
0:34:37	これらの数字は、容器だけを設計するようなメーカーだと、知りえない情報も含まれてますので、
0:34:47	そちらの中のその燃料集合体に対するデータの確認というのは問題ない。
0:34:54	でしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:34:56	あそこは中部電力が申請してる上で、中部電力がきちっとね、運転し、したら、自分の燃料なので、そのデータをメーカーに与えて、
0:35:06	設計をしているものというふうに考えておるんですけれども。
0:35:10	そういう前提だということを、改めて確認したいという状況です。問題ないでしょうか。
0:35:21	はい。とりあえず認識としてはおっしゃる通りでございます。ダントー社の方でよく調べておきます。
0:35:33	規制庁佐田です。すいませんちょっとよく聞き取れなかったんですけども、燃料の、そういったデータについては中部電力側からきちんと提供されてるってということで、もう、
0:35:44	ってということなのかそれともそうなるかどうかを確認するっていうふうに発言されたんでしょうか。
0:35:49	秋葉イノクチです。当社から提出は提供をして、作業を進めています。はい、わかりました。ありがとうございます。
0:35:59	いいですかね。
0:36:01	はい。一応、主に変更したところについては先ほどのような書きぶりの話とか、今のような、他の市、
0:36:13	他のっていうか、特定兼用キャスクの方の審査の方でちょっとトピックになったことを踏まえて、ちょっと事実の確認をさせていただきました。
0:36:27	これからちょっと申し上げるのはもうすでに処分済みの事項で適正化が望ましいかなあと。
0:36:34	すしておいた方がいいと、いうことが考えられるという観点で、ちょっと注視したものでということで、認識いただきたいと思います。
0:36:46	まずトラニオンの評価なんですけれども、
0:36:49	トラニオン野瀬、トラニオンこれねじ込みをとらんよということでよろしいですね。
0:36:58	イノウエモテギですはいその通りでございます。わかりました。
0:37:02	あと、その場合に、トラニオンのねじ山のせん断の評価ってというのが、トラニオンの接続接続部の評価 2-で実施されてますけども、
0:37:14	ねじとめねじメネジですね
0:37:19	接続部であればね、
0:37:22	ここのここの、例えばねじのつぶれ等が生じないことについて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:37:29	確認いただいた上で追記いただければと思うんです。要はそのニシヤマに付加される圧縮荷重ですねシアツみたいなもんですけども、その荷重に対して、
0:37:42	そのトラニオンのネジヤマガタへ売ると、いうことを評価いただきたいと。
0:37:50	評価項目として、一つ追加いただきたいと考えております。
0:37:56	よろしいですかね。言いたいこと、こちらが申し上げたいことは理解いただけましたでしょうか。
0:38:03	魅力的ですはいよ。承知しました。理解。
0:38:06	わかりました。
0:38:07	次は、
0:38:11	HDP型。
0:38:15	ちょっとTK形で、少し、
0:38:18	全体の説明のシナリオは同じ流れで来てるのかなという感じがしてるんです、しています。
0:38:26	特にHDP型については、新たに 2.5 分の 1 のスケールモデルで、傾斜なんかをやったというところがある。
0:38:38	という理解をしています。
0:38:41	そこでですね、新たにこれは追加されたと。
0:38:47	新たに
0:38:49	今回の変更申請で、
0:38:53	説明が追加されたという認識をしています。
0:38:57	ここで、
0:38:59	藤。
0:39:04	いわゆるそのもとの標準輸送容器っていう
0:39:08	主、もとの申請の中にもついてたものとかですね、今回の 2.5 分の 1 のスケールモデル等、今回の申請対象の
0:39:19	HGP69BCHですかね、これ、使用は、一部、あまり落下挙動に関係ないところ以外ですね、
0:39:29	とか影響がさほど有意な影響でないと判断してあるところ以外について、
0:39:36	ソヤ、その簡易化したかなとかあるかもしれません。他はほぼそのスケールダウンしたものというふうに考えてよろしいですか。
0:39:47	ミュキです。はい、そのように私も理解、協力はわかりました。
0:39:52	で、今回追加された傾斜落下試験なんですけれども、これはTK型の方にはこういう試験結果っていうのは、ないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:40:03	ということで、HDP固有で新たに追加でここでやったことはわかるんですけども、それぞれの意味がちょっとわかやっぱりもう少し説明が必要ではないかと。
0:40:17	やったという事実と、その結果、大体発生した加速度はこんなもんだよというところまでは理解できますけども、例えば傾斜落下を生んで、
0:40:29	なぜその傾斜角合同としたと。
0:40:32	確かに旭角度が厳しいということ是被われてますけども、例えば、傾斜落下の場合の人衝撃の影響っていうのが、やはり、
0:40:43	一番キーポイントになるわけですけども、これが厳しい条件なのかそれとも、そういう意味合いではなく、要は何がし評価を全体の評価をする場合、
0:40:55	上で、ティピカルな条件として、この条件を選んだのかというふうなところを明確にさせていただきたいと思います。
0:41:03	その目的によっては、そのあとの説明のシナリオも大きく変わるような気がするので、やはりその辺で谷やりましたという努力賞的なものではなくて一応、論理展開がわかって
0:41:18	試験をやった位置付けということが明確化されるようにちょっと中身を見ていただきたいと思います。
0:41:26	要は、
0:41:28	らのためにやったのか、何のために合同 5 度選んだのかっていうようなところは、少なくとも必要であると考えてます。
0:41:35	で、合わせて言えばなぜ加速度だけ取ったのか。
0:41:39	そこ、そこあたりはまずなにがし、正当性を説明していただく必要があるんじゃないかなと思います。
0:41:47	いいですかね。
0:41:51	はい。定義する。はい、承知しました。試験に関しては、この傾斜学科の知見拡充ということを目的としてやっておりますし、ところについては、前に、
0:42:04	解析で評価した上で、厳しいところというふうに良いと聞いておりますので、その辺りも含めて補足させていただきます。わかりました。
0:42:14	よろしいですかちょっと傾斜が続きますけれども、床コウカガワ共通です。
0:42:22	傾斜落下の結果について、一時衝撃認証域の 9、加速度。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:42:31	が示されるというか、これはあっちですねHDPですね、水平落下と比べて1.3倍を下回るといことと、水平落下における発生を、
0:42:44	水平落下における発生応力の余裕率から、輸送物の健全性が維持されるという、説明で、ロジックが構成されてると。
0:42:55	こういうふう理解したんですその理解で正しいですかね。
0:43:01	シミズツユキです。はい、そのように出させていただきます。わかりました。
0:43:05	一方ですね、
0:43:08	他の落下姿勢と傾斜落下の違いは、先ほど申し上げました通り、一時衝撃と2障壁でエネルギー、そのエネルギーを分割して吸収されると。
0:43:19	いうことになりますそれで、傾斜角がサイト1衝撃に対して、人衝撃のエネルギー吸収割合が大きくなると、だから怖いんだと、いうことが、
0:43:30	海外の論文とか等を見てもですね、とか、
0:43:36	よく知られていることだと思ってます。
0:43:39	また、理事障壁の最終姿勢というのは、水ヒラガとほぼ同じ性なんですけども、一次衝撃の床衝突部を改善中心とした、
0:43:51	転倒挙動であると、いうようなところが、当然水平ナカとは違うで、一次衝撃と反対側の緩衝体でエネルギーを吸収し、
0:44:02	緩衝体のが潰れること悪化に伴う荷重が、輸送容器本体端部にインプットされることから、一次衝撃を下部緩衝体で
0:44:15	こういうことになるんで結局西来が大きいよと、認証域が密封装置の側にあるときについて
0:44:25	やはりTK型、HDP方とも同じちょっと考え方で整理して、ともにやっぱり1.3倍っていうことが、
0:44:36	保守側の考え方なんだっていうことを、やはり示していただく。
0:44:41	というのが、必要があるんじゃないかなと考えてます。要は加速度だけで見てもよくわかんないんじゃないのっていうのが、こちらとしての考え方。
0:44:50	具体的に言いますと、先ほどの5度なり10度なり、一番厳しいというところがいえるんであればその姿勢で結構です。それで示していただいた上で、
0:45:00	維持衝撃で吸収されるエネルギーと認証機器で吸収されるエネルギーの比率、まずこれを明らかにしていただきたい。
0:45:11	これは例えば、生島先生の論文とかのCRUSHの説明でも、改訂2等のエネルギーはこれぐらいですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:45:20	というところ、今まではそれあんまり考慮してなかったけれども、具体的にその数値は出る。
0:45:25	断層等も出せると思いますし、例えば、ドイドイツのババむとかですねその辺も、もっと言えば、このババの文献っていうのは、
0:45:35	原子力学会標準の傾斜落下の考え方っていうところの、参考文献にも出てるようなものなんですけども、この辺の
0:45:46	をリファーした上でですね、この辺をまず、エネルギーの比率どれぐらいなんですかっていうところを示していただきたい。
0:45:54	次に、認証域のエネルギーの割合が大きい傾斜角に対して、
0:46:00	上部緩衝体での変形で吸収した場合の緩衝体の変形量と発生箇所。
0:46:06	これは別に難しいことやってくれということではありません。
0:46:11	多分、今の設計の中で、とろ小と小aの、6章とか5章のところで、CRUSHの計算に基づいてやって、まず、
0:46:22	緩衝体がどれぐらいエネルギーを吸収したときにどれぐらい変形するか、その変形をしたときにどれぐらいの荷重が発生するかっていう関係はもうすでに出ていますので、
0:46:33	それを一つのエネルギーだからそのあるエネルギーを与えたときに、一つの緩衝体でエネルギーを吸収するというような考え方であれば、これおのずと導かれると考えてますので、
0:46:43	そのときに発生荷重がどうですか。
0:46:47	3番目にその発生荷重と9メーター水平落下において、上部緩衝体から容器のフランジ部に入力する荷重を、
0:46:56	と、これを比較して、1.3倍以下だったら、
0:46:59	まああの説明通りですねと。
0:47:01	で、これはあるんであれば、どう考えたらいいのかっていうのはやはりちょっとご検討いただきたいと思いますし、あくまでもセオリーにのっとりやるところですよと。
0:47:14	その考え方であれば、例えば、
0:47:19	HDPの方では今回実験をやりになったということもあるのでそれで実際、この程度しか出てませんよということかもしれませんし、
0:47:31	なると思いますので、
0:47:35	見る限り、1.3倍っていうのはちょっと認識の御旗的にちょっと見えてくるので、そういうことではなくて、ちょっと、
0:47:42	やはり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:47:44	最近のですね、参照と言えはあれですけども、原燃輸送の輸送や、輸送キャスクの申請について最近
0:47:55	と設計承認与えてますので、その辺の内容もよく参照いただいた上でですね、お考えいただければと思います。
0:48:04	以上傾斜落下のところっていうのは以上なんです。ご理解いただけますでしょうか。
0:48:14	蝦名伊吹です。
0:48:16	はい、承知しました。検討して
0:48:20	ちょっと関係で、HDPの方がちょっと気になったところがあるんですけども、同じ傾斜落下のところっていうか6章の所への
0:48:34	土台6-1か何かの応力評価のところ、
0:48:40	ボルトの余裕率が■■■ですよということに対して、考え方として本当にそれでいいのかなっていうことでちょっと
0:48:48	その考え方であればということでもちょっと確認させていただきたいんですけども、だから、■■■ですから基準に対して、
0:48:58	要は■■■の余裕しかない。
0:49:01	そこに、3割の荷重がかかったとしても、落下解析、落下の、要は、
0:49:10	落下試験に対してクラスの評価はこれぐらいの余裕がありますよ。さらに、設計荷重に対してこれぐらい、設計荷重はこれぐらいの余裕があるんだから、
0:49:20	それは1.3倍の内数になり、内数タオカC層、
0:49:26	内田それでか、それだけ実際、もともとの解析に余裕があるから問題はありませんというロジックというふうに認識したんですけども、ただ、やはり同じポイントを同じように評価するのであれば、
0:49:39	本来は、設計荷重、設計過疎、ここで言う設計加速ですかね、設計加速度に対して設計加速度って、傾斜落下のときに幾つ。
0:49:49	いうふうな感じになると思うんですね。
0:49:52	例えば、設計荷重を使って皆さん設計するっていうことは、もちろん解析の保守性を担保するということもあると思うんですけども、物の不確定性とかばらつきとかですね。
0:50:05	そういうものを踏まえて、例えばCRUSHのエートーし、
0:50:11	部分では、昔は推奨値として、大体1.2倍とか何とかっていうことを設計加速度にしましょう。それは何かあったらやっぱ物のばらつきとかそう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

	いうものがあるからそれぐらい見とかないと危ないよねっていう考え方であったというふうに認識しています。
0:50:25	であるので、結局、もう少しこの考え方で、もともと野地試験、
0:50:33	に対して、
0:50:34	例えばそれを 1.3 倍にする、1.3 倍 1.3 倍にするというところに、どんな保守性があるといえるのかと。
0:50:43	かつかつ余裕はなしで、何か特別に別の負荷をかけたから、この評価は、その分現実的に戻したんですよっていう、スタンスの評価ではないと考えてますので、その辺は少し、
0:50:56	保守性とか、説明の正当性について、後追加のご説明をいただきたいと考えています。
0:51:05	よろしいですかね。
0:51:12	はい。中略締結しましたすいません申し訳ないんですけども、余裕率に関しては、非開示情報ですので、失礼しました。お願いします。失礼しました。
0:51:25	つ次よろしいですか。
0:51:30	はい、ありがとうございました。
0:51:33	と、
0:51:34	次はですね、
0:51:37	加速度増が亥鼻Cが、次の追加のところで記載されてこれ、昔から書かれたと思うんですけども、
0:51:46	要は、とか、カツラジェネ数でね、試験された、Dた。
0:51:53	例えば何倍何倍っていうのは、垂直で何倍水でナンバー1 の書かれてると思うんですけども、それを考慮しても問題ありませんよという、説明になってると、いうことを、
0:52:06	いうふうに認識しているんですけども、その前に、この説明をする前に、そのJNESの試験の
0:52:14	JNESのかつてやった試験で獲られた、その場合が、
0:52:21	増ばいいの値ですね。
0:52:25	何. 何%でこうかかる。それが、
0:52:29	例えば、
0:52:30	今回のHDPキャスクの設計とか、TKキャスクの設計であれば、それを下回ること、それに包絡されるということのなにがしの定量的な確認を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:52:43	やった上で、2.6、あ、すみません、その 2. 何倍とかですね、それを使うというのが、本来の、要は安全性の説明のシナリオと考えます。
0:52:53	従って、どんな形でも結構、もちろんだんな形でちゃんと
0:53:00	技術的に通る内容であれば構わないので、
0:53:03	これが保守側の家も当然そのあたりを使うことがもう、評価する上で保守側なんだということの定量的根拠をまず書いていただいた上で、この 10-3 を展開していただきたいと。
0:53:15	いうふうに考えてます。ご理解いただけますでしょうか。
0:53:24	はい、木部です。理解いたしました。はい。
0:53:28	次なんですけども、
0:53:31	等、何か 30 分だと。
0:53:38	参事豚の評価、特に
0:53:43	200 メーター親戚のところなんですけれども、200 メーター親戚の技術上の基準っていうのは、ご理解されてると思うんですけれども、これ密封装置に破損のないことですよ。
0:53:56	日本装置って何かって、三次ウタですよ。
0:54:01	で、今例えば、
0:54:03	これであれば、HDP型であれば、二次蓋の二次蓋が壊れないから、大問題ないよとか、
0:54:14	PK型だったら、1 ウタが壊れないから問題ないよと。
0:54:20	いう説明で 1 ウタ 29 度の評価。
0:54:24	その一番薄いところを取りましたとかっていう評価になってると思うんですけれども、
0:54:28	要は、
0:54:30	評価の対象で 30 ウダなんだから 30 代がどうなるかって書いて欲しいんです。
0:54:35	ということはどれぐらい、30 体どれぐらいの応力が発生して、要は密封装置たる 30 台が壊れないと。
0:54:42	評価する上で当然 20 分だとか 1 ウタが支持構造的なね機能を果たすのであればそれは当然考慮していただいて結構なんで、
0:54:51	そう、その、その上で 30 台が壊れないという説明にここは見直していただきたい。
0:54:57	と考えてます。よろしいですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:55:08	議席数、すいません具体的にどのページとかすいません。はい。6Aの路上への7コウかな、7項。
0:55:17	強化 200 メーター浸漬試験ですね。
0:55:21	ここの 33 の評価のところを見ていただければ結構。
0:55:44	樋口です。はい。場所わかりました理解しましたので少し記載に関してはちょっと検討させてください。
0:55:56	えっとで、
0:55:57	あとはですねやはりこれも、昔から議論になってるところもあるんですけども、ありで前回は前回で、それでいいということ、
0:56:08	進んできて話なんですけど、やはりいろいろ
0:56:14	貯蔵の方も含めてですね、いろいろ議論なってる話で、支社なんですけども、ライブラリーとして、TLC23 を使っているというところなんですけども、
0:56:26	ご存知の通りこのライブラリーについては中性子については、例えば、鉄の炭素を透過するときには、線量当量率を、
0:56:36	中性子の線量当量率を過小評価するという傾向があると、いうことも知られているということですね。
0:56:43	そのある設計については、例えば、ジェンドルのマトリックスリングですかね、33 っていうやつを用いて、申請が出されたものもあります。
0:56:57	あえて具体的に言えば、四国電力の四国電力の兼用キャスクですね、これはマトリックスルーティングが採用されているというようなものもあります。
0:57:11	線量当量率、一方ですね線量当量評価を着目すると、特に選出のうち、中性子が支配的となる頭部底部径方向、トランニオンとかですね。
0:57:22	のトランニオン方向とかですね、高い線量率であるところが示されているわけなんですけども、こういうところに対して
0:57:32	等、要は、特に、
0:57:36	ちょうどキャスクほどではないと思うんですけども、
0:57:41	部位によってはですね炭素 10 日、
0:57:45	炭素を透過するような部分もあると考えられるので、
0:57:51	当該部分については、ジェンドルのマトリックス 33 のライブラリーを使ってもですね、
0:57:59	技術上の基準に適合することについてお示しいただきたい。
0:58:04	いうふうに考えてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:58:06	やはりこって、こういうところ、
0:58:12	もう過小評価するんだよねっていうことがある程度知られてるところに対して、その確認なく過小評価してるだけのライブラリーで、過小評価するであろう。
0:58:24	と言われてるライブラリーだけで評価するっていうことは確認としては、どうなのかと思しますので、要は、そのジェンドルのライブラリを使って、使った上で
0:58:37	その主要部についてどの程度なのか。
0:58:40	ということは、ちょっとお示しいただけたらというふうに考えてます。
0:58:45	よろしいですかね。
0:58:49	はい。中部電力露木です。
0:58:51	はい、わかりました。
0:58:52	恐らくは、恐らくは、よく
0:58:57	一部のメーカーでもこれダブルでやってるところも結構あると思いますのでちょっとご相談された上です、その辺の説明、説明ロジックについてご検討いただいた上で、再度説明いただければと思います。
0:59:11	よろしくお願ひします。
0:59:13	私の方からは以上です。
0:59:18	規制庁のサンゴですけれども、今のいろいろ説明補足して欲しいみたいなところは、加工においても、面談等で説明され、
0:59:31	ということがあるかもしれませんが、申請書の中に、説明として、きちんと書いておいて欲しいということですので、よろしくお願ひいたします。
0:59:47	泉の定義です。承知しました。
0:59:51	すいません。規制庁のホデですけれども、先ほどのちょっと200メートル新セキのところちょっと別の観点で、
1:00:01	疲労評価について設計疲れ線図とかを示して欲しいとちゃんとその紙申請書の中にね、貼って欲しいっていうことをちょっと申し上げましたけれども、この部分、200メートルの開発で当然持つことは理解しておるんですけれども、
1:00:15	おそらく、設計建設規格等に示される、開発を受ける円筒度のざく通評価するということで下、
1:00:26	カーブっていうかグラフが使われてグラフから読み取りでいろいろ、Bの辺りとか、Pのここで言うBの辺りとか何とかっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:00:37	やられてると思いますので、どの例えば、その開発を受ける円筒胴のそのBの辺りとか何とかを選んだのかっていうところも、実際、
1:00:48	グラフを示していただいた上で、添付いただいた上で説明、ここ、このように選んだなっていうことがこちらに理解できるように、少しご検討いただければと思います。よろしく願いいたします。
1:01:06	NFPAす。
1:01:08	はい。
1:01:09	了解しました。
1:01:14	よろしいですか、よろしいでしょうか。
1:01:16	規制庁の丹後ですけれども、ちょっと神経症のですね、体裁的なところについて1修正して欲しいところをお伝えします。
1:01:27	よろしいでしょうか。
1:01:32	住吉清木です。よろしく願いします。
1:01:35	背景規制庁サンゴです
1:01:38	何と表現したらいいのかわかんないですけど、表紙というか1ページ目、2、
1:01:46	住所と氏名を書いてるんですけども、
1:01:50	そこに項目名として、住所、氏名というふうに入れてください。
1:01:59	今
1:02:00	具体的にその受事業所と中部電力株式会社というふうに書いてあるんですけど、左と下に住所、
1:02:10	愛知県何々みたいな、そういうふうに書くってことなんですけども、それ。
1:02:14	よろしいでしょうかね。
1:02:19	いや良くて終了しました。
1:02:22	はい。すいませんちょっといろいろ、
1:02:25	指針、承認書を運用するにあたって、どこを引用しているかというところを明確にするためにちょっと項目名が必要なので、よろしく願いします。
1:02:35	次にですね、3番の変更内容の記載のところなんですけれども、
1:02:43	ここ品質管理の方法等、設計に係るものに限るっていうのを新たに追加したっていうふうな規則上は何かそういうふう、
1:02:54	なる説明書の追加みたいになってるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:02:57	従前から、品質マネジメントの基本方針に係る説明ということで、記載された内容と、
1:03:06	変わりはない。
1:03:07	ものと考えておりますけれども、まずそこは、
1:03:12	変更はないということよろしいでしょうか。
1:03:18	ミナクチです。
1:03:19	と記載に関しましては、保安規定等を参考にして作成していることもあり、今回見直してございます。
1:03:29	規制庁さんもです
1:03:31	その文章が1字1句同じかどうかという意味ではなくてですね、本質の
1:03:38	品質管理の方法というのが本質的に何か変更されたものではないというふうに考えているんですけれども、
1:03:47	そこはや何か劇的に変えた部分があるとかっていうものになりましようか。
1:03:56	エミ電力清木です。本質的なところは、変更ございません。
1:04:01	したらですねちょっと書きにくいという気持ちかもしれませんがもしもしたらあるかもしれないんですけれども、従前の品質マネジメントの基本方針に係る説明の内容等、
1:04:12	新たに説明書という形で、
1:04:14	追加されたっていう形にはなってるんですけれども、小野瀬。
1:04:20	輸送容器に係る品質管理の方法等っていうものの禁止管理については、本質的な変更がないっていうことを、説明上追加していただきたい。
1:04:30	と考えております。
1:04:35	木部締結しました。
1:04:38	はい、えっとですね、それからです。
1:04:42	なんですけども、
1:04:44	ベッキーとして、本来の申請書の1から13までの項目名を、
1:04:53	例えば再掲させる形をお願いしてるんですけれども、その2番目ですね。
1:04:59	2番目、目、ユフオオキの概略を示す図というところで、
1:05:05	安全解析賞のどこに書いてあるかっていうところの詳細ページを引用している部分があるんですけれども、
1:05:12	そこでですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:05:15	今回の
1:05:17	申請書がってということ等、
1:05:20	ていうのと、
1:05:21	変更の申請がこれ初回なので、
1:05:25	自明であるっていうふうな考えなのかもしれないんですけども、申請書の日付と番号をつけた上で、
1:05:33	マイカ申請書というという形に、ちょっと追記をお願いしたいと考え、
1:05:40	これは何かというと、書類の名前だけでは、
1:05:45	特定が難しい。
1:05:47	かもしれないということもあって、日付と番号まで入ってれば、書類の特定は容易であろうという考え方で、
1:06:00	いわゆる経費ですちよしました。
1:06:03	次ですね、別記 8 番の、
1:06:09	委員会安全評価における浸水の領域に関する事項の説明の中でですね。
1:06:15	合成機構を有する部位の睡眠占有した品質管理の、
1:06:22	を、
1:06:23	オープン。
1:06:24	うん。
1:06:25	なんですけども、
1:06:27	これ、
1:06:32	どこに、
1:06:34	書いてあるか。
1:06:36	というところを、
1:06:38	ちょっと喜多具体的に示しておいていただけない中、
1:06:45	16 ページ、承知しました。
1:06:52	これからですね。
1:06:57	杉井、次はですね等、
1:07:01	別記の中の第 2 章、
1:07:03	ですね。
1:07:04	収納物の仕様表のところ、
1:07:08	収納条件っていうところに、3 項目ぐらいあるんですけども、
1:07:14	就労条件って多分これ全部、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:07:18	就労条件だと思うんですね。この三つしか守らないっていう意思表示なんです。
1:07:30	はい。はい、都築です。それぞれすべて守るところにはなります。
1:07:37	これなんかもうちょっとへ、なんかこう、
1:07:41	変な誤解を招かないような表現に改めていただければと思うんですけども。
1:07:50	はい。次のページです。記載についてちょっと検討させていただきます。
1:08:02	はい。それです。
1:08:11	ちょっと図面等、モデルの説明のところからわからなかったということ、と ころで、
1:08:18	ロビーの劣化的なところの話なんですけども、
1:08:24	これ 1DPとB系と、製作の方法とかが違うので、モデルカーにどう反映 するかっていうのを間違うと思っても、
1:08:33	HPの方、根井江藤、ちょっと製作の方法の細かいところに入りますの で、不開示情報であればというふうにしますが、
1:08:41	エンジンの施工の方法等モデルカーの
1:08:46	電熱パスの考え方っていうのは、きちんと合ってるんでしょうかという ところがちょっと気になる。
1:08:52	もう、
1:08:54	1CPがたの。
1:08:58	委員。
1:08:59	ガーくらっと。
1:09:02	ということで、
1:09:03	溶接をして、銅の部分もきちんと熔融し溶け込んでるんでしょうかね。
1:09:16	それで接触した。
1:09:18	捨てるっていう条件で、
1:09:20	熱解析のモデル化をしているのか、それとも要請するのは、鋼材の方だ けなの道路プレートはギャップがあるみたいなふうに考えてるのかって いうちょっとわかりますか。
1:09:36	説明すべきです。すいません。別途配布をさせてください。
1:09:42	はい。それいうところをちょっとモデルの説明のところにかこう、
1:09:48	構造をしているのでこういうモデルになってるというふうに、ちょっと一部 付け加えていただければと思います。
1:09:57	井上清木です。承知しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:10:01	衛藤。そこですね、フジカワですね。
1:10:07	遮へいの解析のモデルの説明のところもちょっとあったりして最近、
1:10:15	詳しく、
1:10:16	何かこう、
1:10:18	説明が必要なんではないかなというふうに考えているところなんですけれども。
1:10:22	これもちょっと3型式で何かいろいろ考え方が違うところがあるので、
1:10:28	綿Cが我々がもう把握が難しいんですけどね。
1:10:33	難しいと思ってるんですけども。
1:10:35	1DP型の方は、
1:10:40	そのRZの軸対称モデルというんですかね。その時に伝熱品の問題はないのとして、
1:10:51	均質化してる。
1:10:54	でしょうか。
1:10:59	もしそれがいいか悪いかっていう話ではなくて、NPDっていうのがある体積を持ってるので、
1:11:07	それが無いものとして、体積を全部、その部分の解析がレジに置き換わってるみたいなことになってないければ問題ないんですけどもちょっと、
1:11:18	その辺、どういうふうにモデル化してるのかっていうところを教えてくださいたいと思います。
1:11:25	PTの方の方ではですね、
1:11:28	まずN-S議員がモデル化アノな、RZモデルの中にも、その密度である。
1:11:37	退出の三つの頭入れているようなんですけども、
1:11:42	そこで、
1:11:46	放射状に入っているものを、
1:11:50	軸対称という形で均質化している。
1:11:54	ていうのを、の説明をちょっとお願いしたいと思っております。
1:12:08	と調整しました。
1:12:13	今この説明の中で、軸対称にしていますっていうところしかないので、
1:12:19	というところがちょっともう少し詳しく説明して欲しいということで、もう一つですね
1:12:26	ちょっと申請書の図面からだとなかなか読み取るのが難しい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:12:32	のと、ちょっと不開示情報になるかもしれませんが、
1:12:36	PK型の電熱器の形状なんですけれども、
1:12:40	令和なんかあの [REDACTED] ような形なんですかね。
1:12:47	[REDACTED]
1:12:49	[REDACTED]
1:12:53	[REDACTED]
1:12:55	[REDACTED]
1:13:00	[REDACTED]
1:13:02	[REDACTED]
1:13:05	[REDACTED]
1:13:07	[REDACTED] ような形状なんでしょうか。
1:13:12	全部についてです。はい。その通りでございます。
1:13:15	その
1:13:19	何て言うんですかね。
1:13:21	言葉ですけど、くっつけ方っていうのは、 [REDACTED] で固定して るっていう形になった。
1:13:33	それで定義すると、ちょっと記憶の範囲で申し訳ないんですけど、 [REDACTED] [REDACTED]
1:13:43	記憶していますが、ちょっとまた、
1:13:46	別途、
1:13:47	7月、
1:13:50	そこ、ちょっとその電熱品がどういうふうに繋がってるのかっていうの が、熱解析モデルの中で、説明がちょっと読み取れなかった。
1:14:02	どこが書いてあって、私が見落としたのかもしれないんですけどちょっと そういうところを説明しておいていただければと思います。
1:14:14	上野清木です想定しました。
1:14:19	何でこんなところ言ってるかっていうと、実際に作る時にですね検査方 法で、
1:14:26	溶接でくっついてるからこういう条件で解析してるっていうことなのかタ ダせ、触れてるだけなので、
1:14:33	検査は増えてるっていうのを見ればいいのかみたいな、あとで作る方法 の確認の時か、間影響してきますのでちょっと今ここでモデルの中の説 明というのを、
1:14:45	拡充して欲しいというふうに思ったりしました。よろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:14:52	上定義です。理解いたしました。
1:14:55	はい。それでちょっと小Fのところ、話は戻ってしまうんですけども、
1:15:02	ミイ抜きのためのドレンパイプとその接続部のゴムについての記載が、 ちょっと抜けているんじゃないかなと思いますので、その辺り、どうい うふうに考えているのかの説明をお願いします。
1:15:20	はい、露木です。
1:15:22	ドレンパイプに関しましては、HDP方は、先行と同様ですので、同じよう な記載を、フゾクするように考えて、
1:15:31	ございます。K型につきましては、パッキンが残らない状況で、
1:15:39	なりますので、追加は不要と考えています。
1:15:43	陸の方に取り付けられるということで、はい。すいません。ちょっとそれ はHDP形特有の話ですね。申し訳ない。
1:16:06	ノロの最初のところで、Oリング呉についてなんですけれども、輸送ごと に交換する。
1:16:14	ていうふうに確か記載されたと思うんですけど、そこは違った理解では ないですかね。
1:16:22	次の6ページです。はい。ボーリングについては、
1:16:25	毎回交換することになれば、はい。衛藤。それと、
1:16:32	取り扱い方法の中では、1年を超えない半まで使うみたいな記載がある んですけども、
1:16:40	そのあたりは整合っていうのはどういうふうになる。
1:16:52	何を言ってるかっていうと、管理部は輸送時にしか使わないので輸送 ごとに交換するっていうと、輸送で1年以上みたいなんかそういう話。
1:17:02	になるのかなと思いつつ、そんなことはないだろうと。そうすると、何か、
1:17:08	なんていうんですかね、使わないと気をつけておくのは1年未満だみた いなそういう考え方なのかなと思うんですけど、ただ、ちょっといまい ち理解が及ばなかったんで、
1:17:28	中部電力ですホールディングにつきましては、
1:17:33	通常、
1:17:35	町道状態でつけない部材になりますので、
1:17:39	基本的に
1:17:42	再費用は
1:17:44	ホームなので、劣化しなければサカイると。
1:17:49	そうは言っても1年、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:17:51	以内にはもう公開するというふうに、すみません、先ほど、
1:17:55	書いてあることと、すみません、しゃべってることが、能勢さんが出てきましたが、
1:18:00	はい。
1:18:04	サイドとしては基本的に、
1:18:06	1 回ごとに交換する部材だと考えていますけれども、
1:18:12	伝えるのであれば、負担しながら、いうふうに考えます。
1:18:21	ならばそうそういう中で、
1:18:26	被災ですかね
1:18:28	我々、我々というか綿強い地震の個人的な思い込みで交換するっていうのはCTと交換するんだというふうに考えたんですけども、そうではなくて、1 年未満、
1:18:42	であれば 1 回使ったものと交換するっていうのも、それも高かったみたいな何かそういう、
1:18:48	ことなんですかね。
1:18:57	はい。魅力的です。はい。密閉性が、
1:19:01	担保できるのであれば、そういった、
1:19:04	取り扱いもできるのではないかと考えています。
1:19:07	でしたら、そういったことを前提に、いろんなことを記載をするような評価をするなりっていうところをお願いします。
1:19:24	それからですね、取り扱いの方の話になるんですけども、発送な意見さあの基準についてなんですけども、これ今
1:19:35	具体的に帰ってもらわないと実際に運ぶときに、検査要領書に書いてありますって言われて検査要領書を見に行くと思うんですけども、その経済要領書ってじゃあ誰がいいって言ったみたいになんかそういう話になると困ってしまうので、
1:19:50	あらかじめある程度動の具体的な基準値っていうのを記載しておいて欲しいというふうにお伝えをしております。
1:19:58	発送前検査のその基準っていうのはそもそも安全解析の条件からくるものなので、基準値が今わからないということはないと思うんですね。
1:20:08	逆に言うと、安全解析の条件っていうのは、確認してるから設計承認が出るわけで、その通り、過去分ですっていうことが遊び経過で確認すると。
1:20:17	いうことになりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:20:19	具体的に基準値が書いてないところは、ウダ 1 を書いてください。
1:20:30	ウメダ 6 ページです。はい。記載について、
1:20:37	その検討するというのは書かないかっていう意味の検討なんですかね。それとも各具体値を検討するっていう。
1:20:46	期待することは考えていますので、搬送方法で
1:20:51	いう方、見直しをいたします。
1:20:53	よろしく願いしますで、特にですね、
1:20:58	何十年も貯蔵してから運ぶってことで一番収納物についてどう評価するのかっていうのが、ちょうど輸送兼用キャスクのポイントだと思っております、
1:21:09	収納物検査において、貯蔵中に、被覆管とかに制限している温度とかを超えてないっていうのを、どういうふうに確認するのか、どうあればいいのかっていうところは具体的に開示をしてください。
1:21:28	はい。いわゆるPDS提唱しました。
1:21:38	それからですねちょっと念のための確認なんですけれども、
1:21:43	ちょっと取り扱い方法とかを見ていく限りでははっきり書いてないように見受けられたので上のために確認させていただきますけれども、これ貯蔵するときには、
1:21:55	タテになってるっていうことでいいですかね。
1:22:00	イデのページです。その通りでございます。
1:22:04	縦置状態の貯蔵で、
1:22:09	ということしか今わからない。この申請書からもわからないんですけれども、
1:22:16	ちょうど中に例えば周りの温度が、
1:22:20	高かったりすると、ナカミアノ放熱できなくて温度が上がってしまったりっていうところを考えられるんですけれども、
1:22:29	ちょっと私熱があんまり
1:22:32	理解がおよんでなくて、もしかしたら間違った理解なのかもしれないんですけれども、ちょうど中の、その外部の温度とか、
1:22:40	周りに熱源がないこととかっていうのが条件になって、貯蔵時の温度ってのは決まるんじゃないのかなと思うんですけど、その辺りの条件っていうのはここに記載がなくても、もうどんな条件で大井をあるうが、
1:22:53	決まってくるもんなんではないでしょうか。
1:23:00	TIPです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:23:02	同時の温度については、
1:23:07	建屋の形状とかを加味して、決まってくることになります。運用としては、
1:23:13	貯蔵中はあたりはい。
1:23:17	排気温度を監視しております。その温度が、ここ輸送の熱解析に用いられる周辺、
1:23:25	早くキャスク周囲の温度を超えないことを確認することで、
1:23:32	輸送キャスクなり燃料代の権利設定がサンポされるということで、
1:23:39	そういった評価をしてございます。
1:23:42	そういったですね、超同時の条件というのも、どういうふうにするかっていう、具体的な説明ということで、期待をしておいてください。
1:24:00	電力係数IR承知しました。
1:24:09	以上がですね編集的のところ、追加で済むと思いますので、よろしくお願いいたします。
1:24:20	規制庁からいいです。麻生。
1:24:23	すいません。規制庁のニッサカです。
1:24:26	衛藤。
1:24:27	ちょっと私の方ですね 12月にいただいた当初のちょっと資料、申請資料に基づいてちょっと今から質問とか意見しますので、ちょっと間違ったりとか、これマスキング
1:24:38	光でっていうことであればちょっとこうしてください。
1:24:43	私のところF-IV辞書を中心に拝見して気づいたんですけど、今回はHDP。
1:24:51	PC系について、これもう型式からしてメーカーが違うんですけど、ただかなり類似のあるような記述が結構散見される中で、
1:25:02	例えば 15メートル親戚の試験で、
1:25:05	新治療の評価、比較をしているところが例えばどうぞGのペーパー2とか3ページで書かれておるんですけど、
1:25:16	例えばですね、1ヶ月の浸水量の評価した結果、
1:25:20	なんちゃら立方UDセンチメートル程度詰まっていって、臨界解析では保守的に、
1:25:28	何とかグラフの浸水を考慮するっていうところでこの数字のところのマスキングがされておるんですけど、
1:25:35	HDPの方はですね、浸水量の方はマスキングされなくて、でもPC系の方は、両方ともマッピングされてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:25:45	あと、
1:25:46	例えばその材質、冒頭等をとですね。
1:25:51	移動で 10 ページとか 11 ページも、これHPもT-C契約業者とも、例えば材質の規格が、
1:26:00	書かれているんですけど、何かそのマスキングの対象となっているものが、ちょっと両者でアンバランスになって、
1:26:07	ちょっと私思ったのが、これから正式にマスキングされた資料、コウカセに、
1:26:14	このA社、Bさん、
1:26:17	お互いが見て、
1:26:19	こっちの方がはっきりしてるから、じゃあうちもマスキングしようとか、何かトガシ的に、
1:26:25	まず金の箇所をちょっと直してくれとか、そういった後出し的なことをされる恐れがないのかどうか、ちょっとそこを教えていただけないでしょうか。
1:26:37	中部電力露木です。
1:26:39	衛藤今野箇所に関しましては私の方でも把握しており、メーカーにですね差があるけど本当いいですかってことは今、
1:26:49	はい。営業文としての各社の考え方の違いです。
1:26:54	すいませんがこの通りの記載と、
1:26:58	マスキングとさせていただこうと思ってます。
1:27:02	規制庁、坂井
1:27:03	一応今の中部電力さんの説明、もう言葉通りやってる理解は、
1:27:09	けど、
1:27:10	一方で、
1:27:12	中部電力さんとしては、そこはもうメーカーさん、
1:27:16	心底の通りに従うということで、
1:27:19	ただ一方でやっぱり今回 3 件まとめて申請されておりますから、当然見る人たちっていうのは、当然それを横並びにして、
1:27:29	よく比較分析もされると思うんで、
1:27:33	ちょっとそこで、どうしてこの各社によって、
1:27:36	何か型式、
1:27:38	差が出てくるんですかっていうところは、
1:27:41	おそらく中部電力さん方、もしかしたら問われるかもしれませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:27:45	ちょっと場合によっては我々も中で、例えばその審査とか、ちょっと稟議を通す過程で、
1:27:51	ちょっと聞かれる八尾氏に合わせるので、
1:27:54	ちょっとそこはもう一度念の使用の確認をとかですね。
1:27:58	場合によってはその中部電力さんとしてここはやっぱりもう包括的にすべきだと。
1:28:04	考え直すこともあり得るし、やっぱり企業から支援していただくメーカーが参加していただく通りで、大丈夫だと。
1:28:12	いうところをちょっときっちりと整理したわけだと思いますが、よろしいでしょうか。
1:28:21	はい。筋力についてです。想定した、いたしました。
1:28:25	はい。
1:28:26	部署のところで、すいません、規制庁ニッサカです。
1:28:31	緩衝体とか、緩衝体で使える 59 台の
1:28:37	経年変化分析というところで、これ、余四国電力さんの審査会合、
1:28:43	資料ですとか、それに基づく評価なり、
1:28:47	考察の記述を、基本的には忠実にトレースしていただいていると思うんですけど。
1:28:53	一方で、このF章の冒頭にですね、
1:28:56	どうもFの繋がって、各材質の最高温度というのは、はい。
1:29:01	そういうので緩衝体木材とか緩衝体ですとか木材というのが、
1:29:06	大体 80 度ですとか、107 度ですとか、
1:29:10	やっぱり高い値がイコール結構で、
1:29:13	小ノロ小、
1:29:16	この中では、
1:29:17	要はいわばちょっとナカは形成的に近いんですけど、
1:29:22	平均して 40 から 70 ちょっといつも使われてる言い回しが書かれてるので、ちょっとそこのギャップをどうお考えである。
1:29:31	或いはどういうふうにとちょっとまた説明しなかったというところも、ちょっと今お聞かせいただければ
1:29:36	課長。
1:29:52	あ、
1:29:53	中部電力、植木でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:29:57	やっぱり 107 度とかそういった温度が、あくまでも解析上の最高温度ということで、実際の移送としては、
1:30:08	冷却の進んだ燃料を収納していたりとかそういったことで、
1:30:12	40 から 75、
1:30:15	どこ。
1:30:18	そういったギャップがあるというような、
1:30:21	あれになっておりますが、
1:30:23	すいません、それに対して、
1:30:26	何だろう。
1:30:27	質問の趣旨がちょっとよくわからなかったんですけども。
1:30:32	はい。規制庁のサンゴですけれども補足しますと、実際に運ぶまずですね実際に運ぶ燃料がもっと冷却の進んだものなので温度が低くなるんですっていうのであれば、
1:30:44	そもそもの収納物の条件をきちんとその冷却日数にして、発熱量を抑えた安全解析を示してください。
1:30:56	原因のものが運べるようになっていうことで、制限を設けてそれで安全解析をしているっていうことで、
1:31:04	最高燃焼とか最高の発熱量のものを入れれば、解析に保守性があるので実際の温度はもっと低くなるっていう面はあると思いますけれども、
1:31:15	近い値が出るというふうなのが通常だと思って。
1:31:19	なのでイマイ、ご説明いただいた内容はちょっと違うのかな。何を求めているかという、
1:31:25	そもそも最高温度って評価点が一つで、
1:31:29	緩衝体の中に、大きな体積を持って存在する木材のある一部の温度がこうなりますっていうことで、全体的にその温度になるっていうわけではない。
1:31:41	から、
1:31:42	大部分、木材、何て言うんですかね衝撃吸収をする木材の大部分の温度っていうのが、低いだろうっていうことがあるので、
1:31:53	その温度等、
1:31:55	実績の温度っていうのを比較すると、
1:31:58	同じ程度でっていうふうな説明に繋がっていったんじゃないかなというふうに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:32:07	何ていうかね業界内からの説明は理解していたんですけどもそれは我々の理解が間違っていたんでしょうか。
1:32:17	今言ったのは最高温度が先ほど言ったように最高温度っていう評価点が、一部こうなるけれども、全体的な温度としてはこういう温度だからっていうふうな、
1:32:28	間に少し説明を追加して、だから実績 70 \$ 程度までのもの問題なかったっていうのを見ると、今回の輸送物の設計にも問題がないんだというふうに繋がるようにという、
1:32:42	記載はいかがですかということなんだと思うんですけども。
1:32:47	どうでしょうか。
1:32:49	はい。すみません。露木です。
1:32:54	その通り中播総体の中でも最高の点を、を記載しておるところでございます。ただ、平均の温度に関して、
1:33:05	ユフは今手持ちでございませんで少し確認をして、これより低い値になると思いますけれども、おっしゃったように、記載をすることをちょっと考えています。
1:33:22	規制庁西坂です。ちょっと最後の、私から最後の質問になりますけど、冒頭同 13 その他特記事項で、輸送 2 なんか使用予定期間が 60 年。
1:33:34	ちょうどほぼ 60 年とちょっと規定して書かれておるんですけど、これはあくまで製造されてから 60 年か使用期間。
1:33:42	というふうに書いて欲しい。ちょっとこの 60 年 60 年がどのような関係にあるとかちょっと言葉でよく言えなかった。
1:33:50	ちょっとそこのポストをお願いします。
1:33:55	ちょっと。
1:33:59	はい。
1:34:00	柴山清木です。
1:34:01	投資事業予定年数に関しましては、
1:34:08	製造開始からの 60 年。
1:34:11	貯蔵予定期間としては、
1:34:13	60 年というのは、
1:34:17	兼用キャスクの概要の中で、決められた定義に基づいた期間になりました、
1:34:23	貯蔵、
1:34:26	状態で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:34:27	の評価を行うための、
1:34:30	平成 60 年っていうの、
1:34:31	を記載してございます。
1:34:37	規制庁、荘司真下ありがとう。
1:34:44	いいですか。はい。
1:34:47	岩崎規制庁の松本です。都築さんよろしいですか私の方から、1 点だけなんですけど、確認さしてください。
1:34:55	0 地震、今回、駐車遮へい材の密度の減損率の設定なんで、
1:35:03	もう、
1:35:05	HPは減損立冬信頼区間まで含めた減損率、それを小数点以下 1 を丸めた形で設定されてます。
1:35:17	TK。
1:35:18	の型式の方は、
1:35:20	同じような手法で導かれた減損率を、ちょっと丸め方が大きいんでしょうかね。
1:35:27	■という数字。
1:35:29	読みましたけどもそう設定されてるということで、その設定の仕方がちょっと違うので、中電、中電さんとして、その両者の設定の仕方をそれでよしとした。
1:35:42	理由みたいなものをちょっと説明していただきたいと。
1:35:46	これ安全側に設定しているので、
1:35:49	このままでいいんだというご判断であれば、それでいいと思うんですけども、もしうちの考え方で、整合等を図った方が良い、良いということであれば、必要な申請書への対応を、
1:36:01	お願い、検討でき、検討していただきたいということです私の方から以上 1 点です。
1:36:11	はい、食事の復旧期です。
1:36:13	TK型の余裕率の
1:36:18	%もですねただ被災情報だと思いますので、石野室長お願いします。
1:36:24	菅。
1:36:26	北井のですね余裕の取りバターはですね確かにただ、
1:36:30	あるんですけども、そこに関しましてはですね
1:36:35	携帯型の方が、
1:36:37	1B型の方は多分実績のあるレジ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:36:42	材質を使っているというところで、普通、
1:36:47	前例先行事例に基づいた丸め方をしていると。
1:36:52	定型型に関しましては、社内開発材のちょっと新規材料というところで少し
1:37:00	余裕を見て、
1:37:02	確認をしたというところでございます。
1:37:07	規制庁佐野です。ちょっと補足して、教えていただきたいんですけども。
1:37:12	1DP方に使われているレジンというのがもう使用実績があるので、こういう余裕を設定したPK型というのは、
1:37:23	新しく新規開発されたものでまだ使用実績がないので、大目に見えているという理解でしょうか。
1:37:33	入ってるというケース、その通りでございますけれども、その数字決めるにあたって、社内試験等確認はした上での値になっていきますので、特に
1:37:46	少し多めになっているのは設計の間野ムタ違いというところもある。
1:37:52	もっと長く、
1:37:54	ちょっと面のために確認させていただきたいんですけども、
1:37:59	両シャアの遮へいの解析であったりとかっていう解析の仕方の中に含まれる保守性の大小があるので、
1:38:09	減損率を多めに見なきゃいけないとか、そういったことではないという理解してよろしい。
1:38:16	それでフジキです。はい。それに関しては、補正を見込んだ数字が使われていればいいと思っておりますので、そこで何、この差が、
1:38:28	何かどうのこうのっていうことはないと考えて、
1:38:31	規制庁様でちょっと言い換えますと、
1:38:34	例えばPK型の方が、解析における保守性が低いので入力値において保守性をたくさんもたせなきゃいけないからとかっていう理由ではないという理解していったらいいんです。
1:38:47	%ツツミユフ清木です。はい。その通りでございます。はい。
1:38:53	一応その引用されたデータに基づいて、こういうふうを設定しましたというところは一度整理していただける、整理して説明していただけるとありがたいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:39:08	はい、ベルク清木です。すいませんその説明ができるかどうかちょっとメーカーに確認してですね、回答させていただきますので、申し訳ございません。よろしくお願いします。
1:39:22	緊張感ですけどボカーンは、
1:39:25	よろしいですか。
1:39:27	規制庁さんはですね中部電力側も何か
1:39:32	確認事項、連絡事項等あれば、
1:39:42	それで不定期です。確認事項等ございません。
1:39:46	ありがとうございました。
1:39:48	はい、規制庁様それではですねこれをもちまして中部電力株式会社との面談を終了いたします。
1:39:55	ありがとうございました。
1:39:58	はい、ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。